

横浜マラソン 2017 大会の中止について

1 中止に至った経過

組織委員会では、大会開催の 96 時間前の 10 月 25 日（水）に危機管理プロジェクトを設置し、気象庁が発表した台風 22 号の規模や進路予想等をもとに、大会に関する影響等について検討してまいりました。

大会前日の 28 日（土）の午後になり、大会開催時に横浜が強風圏に入ることが確実との気象庁による予報を受け、2 万 8 千人のランナー及び 7 千人を超えるボランティアの安全確保を最優先に考え、大会を中止といたしました。（28 日（土）16 時 30 分発表）

また 27 日（金）・28 日（土）には、横浜赤レンガ倉庫 2 棟間広場において、ランナー受付とともに、ランナー応援や協賛各社の PR ブースを出展した EXPO2017 を行いました。

2 大会当日（29 日（日））の気象状況

- (1) フルマラソンスタート時（8 時 30 分） 大雨・強風・雷・波浪注意報が発令中
- (2) 大会開催中（12 時 15 分）大雨警報の発令（強風・雷・波浪注意報は継続）

3 EXPO 開催時（27 日（金）28 日（土））、大会開催予定時（29 日（日））の対応

- (1) ランナー・EXPO 来場者への対応
 - ・中止決定（16 時 30 分）以降、EXPO 会場内や最寄りの駅（みなとみらい、馬車道、日本大通り、関内、桜木町駅）で中止となった旨の掲示とスタッフによる呼びかけの実施
 - ・全ランナーにメールを配信（19 時）
- (2) 大会関係者・各メディアへの周知
 - ・スポンサー、ボランティア、警察、首都高速、関係自治会、沿道企業、市・県会関係者、大会委員等へ大会中止の速やかな連絡
 - ・16 時 30 分に記者発表及び大会ホームページ、横浜市ホームページ、tvk のニュース速報でテロップ表示を実施
- (3) EXPO 会場やコース上等のトイレ（約 900 基）などの強風対策実施
- (4) 大会当日に主要駅・会場へ大会中止の案内人員を配置
- (5) EXPO 来場者
27 日（金）：約 2 万 1 千人 28 日（土）：約 2 万 8 千人 合計 4 万 9 千人

4 ランナーへの対応

- (1) 出走記念タオル等の送付と併せて組織委員会会長名のお手紙を同封
- (2) 2018 大会への優先出走権を付与します（参加料は必要となります）
- (3) 2017 大会完走メダルは 2018 大会完走時に併せてお渡しします

5 今後のスケジュール（予定）

- (1) 平成 30 年 2 月頃 : 優先出走権保有者への先行エントリー
- (2) 平成 30 年 4 月頃 : 2018 大会の一般エントリー
- (3) 平成 30 年 10 月 28 日（日） : 大会開催